

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
社会福祉概論	講義	2	森合 真一
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b>			
<p>一人ひとりの幸せを目指す社会福祉政策、生活の質およびフィールドにおける実践の内実は決して十分とは言えませんが、私たちは社会福祉の実現を目指していく努力を惜しんではならないと考えます。このような視点に立って、以下の5項目を到達目標とした授業を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.現代社会における社会福祉の意義、歴史的変遷を理解する。</li> <li>2.社会福祉の法体系、制度および行財政の要旨を理解する。</li> <li>3.社会福祉における公私の役割を理解する。</li> <li>4.相談援助の方法および福祉専門職の役割を理解する。</li> <li>5.社会福祉関連領域の概要を把握する。</li> </ol>			
<b>【授業の概要】</b>			
<p>2000(平成 12)年に社会福祉事業法が改正、介護保険法もスタートし、その後、次世代育成支援対策や障害者総合支援法の施行など、社会福祉制度は大きな変革を辿っています。このような現状において社会福祉の意義や法体系の全体像を把握できるよう、近年の社会状況を踏まえながら授業を進めます。</p>			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. 社会福祉の理念と概要			
2. 社会福祉の歴史的変遷(1) 海外の社会福祉の歴史			
3. 社会福祉の歴史的変遷(2) 日本の社会福祉の歴史			
4. 基本的人権と社会福祉			
5. 社会福祉の法体系・制度			
6. 社会福祉の行財政と計画			
7. 社会福祉の実施機関			
8. 社会福祉事業と社会福祉施設			
9. 社会福祉専門職・実施者			
10. 社会福祉における相談援助(1) 相談援助技術の体系			
11. 社会福祉における相談援助(2) 援助の過程(プロセス)、相談援助の展開			
12. 権利擁護と苦情解決・評価制度			
13. 高齢・多子社会の到来			
14. 子ども・子育て支援の総合施策			
15. 試験とまとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方: 事前に、テキストのシラバス記載箇所を読んでおきましょう。			
学習のあり方: 日頃から、社会情勢や社会問題に関心を持ち、ニュースに触れるよう心掛けましょう。			
復習のあり方: 講義後、レジュメ等を使用して確認をしましょう。			
<b>【成績評価】</b>			
試験が 80%、平常点(講義中の態度や意欲など)が 20%で評価をします。			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
課題にコメントを記入し返却します。			

**【テキスト】**

新・はじめて学ぶ社会福祉④ 社会福祉概論／杉本敏夫 監修／ミネルヴァ書房、2017年／2,400円(税別)

**【参考文献】**

社会福祉の基本と課題／井村圭壮・相澤譲治 編著／勁草書房、2015年／2,400円(税別)